

物理化学3

責任者・コーディネーター	構造生物薬学講座 関 安孝 准教授		
担当講座・学科(分野)	構造生物薬学講座		
対象学年	2	区分・時間数	講義 18時間
期 間	後期		
単 位 数	1単位		

・学習方針（講義概要等）

物理化学3では、物理化学2で学んだ基礎知識を、溶液や電解質といったより複雑な系に応用する。さらに、溶液および電気化学に関する基本知識、反応速度の理論について学習する。本講義で取扱う内容は、製剤技術に直接関わる基礎理論として重要であり、かつ平衡定数や速度定数の算出といった計算技能に関する習得も含まれる。複雑な系における物質の状態および相互変換過程を熱力学に基づき解析できるようになるために、溶液および電気化学に関する基本的知識と技能を修得する。

また物質の変換過程を理解するために、化学反応速度論、および反応速度に影響を与える諸因子に関する基本的知識と技能を修得する。

・一般目標（GIO）

複雑な系における物質の状態および相互変換過程を熱力学に基づき解析できるようになるために、溶液および電気化学に関する知識と技能を修得する。また物質の変換過程を理解するために、化学反応速度論、および反応速度に影響を与える諸因子に関する基本的知識と技能を修得する。

・到達目標（SBO）

1. 溶液の束一的性質の原理を、具体的現象に応用できる。
2. 化学ポテンシャル、活量、イオン強度といった電解質溶液の用語を説明できる。
3. 電池や標準電極電位の説明、ネルンストの式の導出ができる。
4. 反応次数と速度定数の理解に基づき、代表的な反応の特徴や反応理論の概要を説明できる。
5. 簡単な反応の速度式を変形して、速度定数を計算することができる。

・講義日程

(矢) 東 102 1-B 講義室

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
9/11	木	2	構造生物薬学講座	関 安孝 准教授	熱力学の原理1 (エントロピー、エンタルピー)
9/22	月	2	構造生物薬学講座	関 安孝 准教授	熱力学の原理2 (ギブズエネルギー、化学ポテンシャル)
10/2	木	2	構造生物薬学講座	関 安孝 准教授	溶液の束一的性質

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
10/9	木	2	構造生物薬学講座	関 安孝 准教授	化学ポテンシャルと活量および平衡
10/16	木	2	構造生物薬学講座	関 安孝 准教授	電解質のモル伝導度とイオンの輸率
10/23	木	2	構造生物薬学講座	関 安孝 准教授	イオン強度と活量係数
10/30	木	2	構造生物薬学講座	関 安孝 准教授	化学電池と標準自由エネルギー変化
11/6	木	2	構造生物薬学講座	関 安孝 准教授	総合実力確認テスト
11/13	木	2	構造生物薬学講座	関 安孝 准教授	反応次数と速度定数の算出
11/20	木	2	構造生物薬学講座	関 安孝 准教授	擬一次反応と複合反応
12/4	木	3	構造生物薬学講座	関 安孝 准教授	反応速度と温度の関係
12/11	木	2	構造生物薬学講座	関 安孝 准教授	触媒反応と酵素反応

・教科書・参考書等(教：教科書 参：参考書 推：推薦図書)

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	スタンダード薬学シリーズ2 「物理系薬学Ⅰ 物質の物理的性質」第2版	日本薬学会 編	東京化学同人 (定価 4,400 円)	2011
参	Innovated 物理化学大義：事象と理論の融合	青木 宏光、長田 俊治、橋本 直文、三輪 嘉尚	京都廣川書店 (定価 6,000 円)	2009

・成績評価方法

定期試験（80点）と実力確認テストなど（20点）、および受講態度で総合的に評価する。

・予習復習のポイント

毎回授業で取り上げる実力確認テスト（10～20問）を moodle か配布プリントを使って復習すること。